平成２０年５月からはじめました

肺炎球菌 ワクチン 予防接種
公費負担のご案内

保健だより

肺炎は日本人の死因の第４位であり、死亡者の大半を高齢者が占めている病気です。肺炎の原因は肺炎球菌がもっとも多く、しかも重症になりやすいといわれています。

肺炎球菌の病気の予防には、肺炎球菌ワクチンが有効です。

このページに関するお問い合わせは
保健福祉課健康づくり係へ
☎56−2111 内線276・277

１．対　　象：接種日において、６５歳以上の小平町に住所がある方
　　※過去に接種したことがある方は受けることができません
２．接 種 期 間：通年実施します
３．接種医療機関：小平町立小平診療所（月～金曜日　９時～11時）
　　小平町立鬼鹿診療所（月～金曜日　14時～14時半）
４．接 種 費 用：公費負担後自己負担額３，５００円（生活保護受給者のみ無料）
５．接 種 方 法：肺炎球菌ワクチンを、1回０．５ｍｌ筋肉内または皮下に注射します
　　※予防接種法に基づき、生涯１回限りの接種とし、再接種はできません
６．申 込 方 法：保健福祉課健康づくり係まで、電話または来庁にてお申込みください

～ 肺炎球菌ワクチン予防接種Ｑ＆Ａ ～

Ｑ１．肺炎球菌ワクチン予防接種の効果は？

⇒ 肺炎球菌ワクチンを接種することにより、日本に分布する肺炎球菌の約８０％に対応することができます。1回の接種で５年以上免疫が持続します。
（若い時期に接種した方が、予防効果は長く持続するといわれています。）

Ｑ２．副反応（副作用）は？

⇒ 主な副反応はインフルエンザ等の予防接種とほぼ同じです。
注射部位の腫れや痛み、ときに軽い発熱がみられることがありますが、日常生活に差し支えるほどのものではありません。通常1～2日で消失します。

Ｑ３．何歳の時に受けたらいいの？

⇒ 町の助成では、６５歳から受けることができます。
一生免疫が持続するわけではないので、何歳で接種されるかは、自身の健康状態などを考慮し、ご家族の方や保健師等に相談の上、判断していただきたいと思います。

Ｑ４．なぜ肺炎球菌ワクチンは一生に1回しか接種できないの？

⇒ 再接種をすると、副反応の増強（注射部位の局所反応）が観察されているため、安全性を考慮し、日本では一生に1回しか接種することができません。

Ｑ５．６５歳以下は接種できないの？

⇒ 町の公費負担は受けられません。但し、２歳以上で肺炎球菌による重篤疾患に罹患する危険が高い人（脾臓摘出患者等）であれば全額自己負担で病院と相談の上、受けることができます。

【各町立診療所のお盆休みのお知らせ】

	8/10 (月)	8/11 (火)	8/12 (水)	8/13 (木)	8/14 (金)	8/15 (土)	8/16 (日)	8/17 (月)
小平診療所				←	休診		→	
小平歯科診療所				←	休診			→
鬼鹿診療所						← 休診 →		
鬼鹿歯科診療所				←	休診		→	